

令和4年度 幼保小連携推進地区 活動報告

日限山小学校 上永谷西保育園

令和4年度の活動目標

保育園と小学校をつなぐ造形遊び

～保育園から小学校へスムーズな接続に向けて～

○幼保小連携推進の初年度の目標としては、保育園から小学校へあがる子どもたちのハードルを少しでも下げて、スムーズに小学校生活に移行できるようにしようと考えました。

○昨年度の一年生の様子から、描くことや作るものが決まっているものに関しては、取り組むことができるが、偶然にできた色や形から想像することを苦手とする姿が見られました。そこで、テーマを造形遊びにすることで、もっと自由に表現活動を楽しみ、想像力を膨らませることができると考えました。

○保育園児にとっても、普段、何気なく遊んでいる砂遊びや色水遊びなどが小学校の図工につながっていることを捉える機会になると考えました。

日限山小学校スタートカリキュラムについて①

① 朝の支度や給食の準備

自分の身支度を自分たちでできるようにするために視覚的な資料を掲示しました。



② 学校探検や名刺交換で学校のことを知る

「学校にはどんな教室があるのかな」「どんな先生がいるのかな」という子どもたちの問いから学校探検や名刺交換をしました。

○「学校にはどんな教室があるのかな」→わからないことは2年生に聞いてみよう→「こんな教室でこんな物を見つけたよ」クラスの友達に発表

○「どんな先生がいるのかな」→「名刺交換をしよう」→日限山小学校教職員図鑑を作ろう



③ 徐々に学校生活に慣れていけるように

なかよしタイム(クラスでの遊びを通して、友達の名前を知る時間など)

わくわくタイム(学年での遊びを通して、遊びを見つけたり、春の物を探したりする時間)

ぐんぐんタイム(読み聞かせや算数など学習をする時間)



日限山小学校スタートカリキュラムについて②

④朝の「わくわくタイム」

朝、自分の支度が終わったら、外や生活科ルームで遊ぶ時間を作りました。この時間で友達を作ったり、入学の緊張感がほぐれたりする時間になりました。



⑤6年生との交流

4～5月は6年生が朝の支度や給食の支度など手伝いに来てくれました。なんでもやってもらうのではなく、困っていることを伝えてから手伝ってもらうよう指導しました。



わくわくタイムのときに

昨年度、保育士さんに伺って購入したピタゴラスやラキューと一緒に遊びました。
大きなジョイントマットを購入して、マットの上で本を読んだりプラスチックカップを積んだりして遊びました。



ピタゴラスでお城を作ろう

みんなでダンスをしよう



プラスチックカップを
たくさん積み上げよう

年長さんと1年生の出会い

6月 1年生がいつも行っている公園になんと、保育園の友達が!!

どこの保育園ですか。

一緒に遊ぼう

また遊ぼうね



自然と遊びや
会話が生まれ
ました。

また、一緒に
遊びたい!!

「また、一緒に遊びたい」と子どもたちの思いから交流がスタートすることになりました。

交流① 色水遊び

1年生1グループ7~8人グループと保育園2~3人グループを組んで遊びました。

小学生も保育園児も分かりやすいようにお花の名前をグループに付けて、年間を通してこのグループで活動できるようにしました。

①グループでの自己紹介

②色水遊び

お花グループではじめての挨拶をしよう。



何色の色水を作りたい。

交流② ダンス交流

運動会で踊るダンスをお互いに見せ合って、交流をしました。

○小学生が保育園に行って、年長さんのダンスを見ました。

○保育園児が小学校に来て、1年生のダンスを見ました。



年長さんのフラッグ
の演技すごかったよ。



1年生のフラフープの演
技はかっこよかった。

交流③ 絵の具遊び

- 「海の生き物に色を付けよう」をテーマに海の生き物をお互いに描いて、拡大しました。紙は丈夫な拡大用紙を購入しました。
- ローラーで色を塗ったり、カップなどの身近材料でスタンプをおしたりと絵の具遊びを楽しみました。
- できた作品はタブレットで写真を撮り、手紙にして保育園の友達に送ったり、リースにして小学校の友達に送ったりしました。

絵具でペタ
ペタ色を塗
ろう



交流④ 造形遊び

○たくさんの洗濯ばさみ、プラスチックカップ、ペットボトルキャップを並べたり、積み重ねたりして遊びました。

○洗濯ばさみは横浜市図画工作研究会から借りました。

洗濯ばさみをたくさん
繋げたらお花みたい
になったよ



交流⑤ 秋祭りに向けて



どんぐり
おちば
まつぼっくり
たくさんみつけたよ

どんぐりこまを作りたい
まつぼっくりで
けんだまを作りたい

保育園のお友達も招待
して、一緒に遊びたい!!

一緒に秋祭りをしよう!

<小学校のめあて>

○秋の自然物を使ったおもちゃやゲームで楽しく遊ぶ活動を通して、交流を深める。

<保育園のめあて>

○小学校でのお店屋さんごっこに楽しんで参加し、一年生と関わりをたくさんもつ。
○交流を通して、小学生になることのイメージを具体的にもち、入学への期待をもつ。

学年みんなで、お店屋さんを作り準備をしました。

どんぐりつり
どんぐりすもう

どんぐりがっき
どんぐりすごろく

どんぐりまとあて
どんぐりころがし

どんぐりこま
はっぱすいじゃく

どんぐりわなげ
どんぐりまとあて

どんぐりつり
どんぐりボウリング

どんぐりすもう
どんぐりキャッチ

どんぐりたからさがし
まつぼっくりキャッチ

交流⑤ 秋祭り

保育園の友達を招待して、秋祭りをしました。

一緒にお店屋さんを回ろう



どんぐりたからさがし屋さんへようこそ!!



どんぐりまとあてこのカップの中にどんぐりを入れてね



どんぐり相撲やさんだよ。好きなものを選んでね。



交流⑥ 紙芝居の読み聞かせ

- 国語の学習「たぬきの系車」で紙芝居の音読の仕方を学習しました。
- 学習したことを生かして、保育園の友達に紙芝居を聞いて楽しんでもらいたいという思いから交流をしました。

みんなで協力して紙芝居を読もう
楽しんでくれるかな



小グループになって
紙芝居を読んだよ

職員の研修を一緒に

- ・12月3日(土) 保育園の保育士と小学校の先生が合同でアプローチカリキュラムとスタートカリキュラムについての研修をしました。
- ・講師を招いて「幼保小の架け橋プログラム」「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」についての話を聞きました。
- ・小学校教員4名と保育士1名がグループになり、話を聞き合うことで、顔が見える関係になりました。



令和4年度の交流を振り返って 成果と課題

<成果>

☆造形遊びでの交流

想像することが苦手な児童も、絵具や色水で自由に遊ぶと活動自体を楽しめていた。保育園の友達も、保育園での遊びの延長線上に小学校の学習があることを体験できました。

☆学校外との関り

良い緊張感の中で、運動会の演技を発表したり紙芝居の練習をしたりすることができました。

☆コミュニケーション力の育成（年下の子と関わり方）

絵具や水遊び、洗濯ばさみなどを通して、遊ぶことで、あまり関わったことのない友達とも自然と会話をし、仲良くなることができました。校内では一番年下の一年生も、年下の子と関わることで、声のかけ方や遊び方を考えて実際に交流することができました。

☆相手意識を育むことができた

紙芝居での交流では、「保育園の友達に楽しんでもらうには、はっきりとした声が良いよ。」「（登場人物が）本当に話しているように読んだ方がいいよ」「リハーサルをした方がいい」など、子どもが相手のことを考えて活動する姿が見られるようになりました。

令和4年度の交流を振り返って 成果と課題

<課題>

☆保護者との関わり

- ・保育園との交流は学年だよりなどで、お知らせをしました。
- ・趣旨の説明や活動の様子を今後も手紙などで知らせていく必要を感じました。

☆新2年との関わり

- ・昨年度は年長・1年生で育んだ関係を、年長さんが1年生になった次年度も続けることが難しかったです。
- ・4月のわくわくタイムで一緒に遊ぶ、一緒に学校探検に行くなど1年生・2年生になっても関係を続けられるように、手立てを考えていきたいと思います。